

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（島根2号機設計及び工事計画）【102】
2. 日時：令和4年2月28日 13時30分～16時50分
3. 場所：原子力規制庁 9階D会議室（TV会議システムを利用）
4. 出席者（※・・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

新基準適合性審査チーム

植木主任安全審査官、大野主任安全審査官、宇田川安全審査官、服部（靖）

安全審査専門職、山浦技術参与

技術基盤グループ 地震・津波研究部門

堀野技術参与

事業者：

中国電力株式会社

電源事業本部 担当部長（原子力管理） 他14名※

中部電力株式会社

原子力本部 原子力部 設備設計グループ 担当※

電源開発株式会社

原子力技術部 設備技術室 担当※

5. 要旨

(1) 中国電力株式会社から、島根原子力発電所2号機の設計及び工事の計画認可申請書のうち、耐震性に関する説明書（燃料プール冷却系熱交換器他の耐震計算書、既工認との手法の相違点等）について、令和4年2月15日、21日の提出資料に基づき説明があった。

(2) 原子力規制庁から、主に以下の点について説明等を求めた。

【燃料プール冷却系熱交換器の耐震性についての計算書】

- 胴に生じる応力が最大となる個所を、FEM解析モデル図上に示して説明すること。
- 解析モデルのモデル化手法の詳細について説明すること。

【アキュムレータの耐震性についての計算書】

- アキュムレータを支持する架台が剛構造かどうか説明すること。
- アキュムレータの長手直交方向の固有周期の計算方法及び結果を説明すること。

【横置円筒形容器の耐震評価方法の適用について】

- 応答解析手法及び応力評価手法について、JEAG4601 の記載内容との相違点及び既工認との相違点を明確にして説明すること。
- JEAG に基づく当板の考慮可否の判断について、判断のための検討内容を説明すること。

(3) 中国電力株式会社から、本日説明等を求められた内容について了解した旨の回答があった。

6. その他

提出資料：

なし